



地域社会とリスクマネジメント

著者	亀井 克之
雑誌名	子どもの安全とリスク・コミュニケーション?
ページ	139-146
発行年	2014-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10112/9014

公開シンポジウム

主催：日本学術会議第一部経営学委員会、日本リスクマネジメント学会

後援：関西大学 経済・政治研究所

現代リスクマネジメントの諸相

ソーシャル・リスクマネジメントとリスク・リテラシー

現代はリスクの時代で、リスクは多様化し、巨大化し、国際化し、同時に社会化してきました。社会全体に影響を及ぼすリスクに個人、企業、地域社会、行政が連携して、対応するというのが、「ソーシャル・リスクマネジメント」です。この考え方にに基づき、本シンポジウムでは「地域社会と子どもの安全」に注目して個人、企業、地域社会、行政が果たすべき役割について探求します。同時に、共有すべきリスク・リテラシーについて考察します。

時：2014年2月28日（金）13:30-16:45

於：日本学術会議講堂 港区六本木 7-22-34 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

開会の辞 川本明人（日本学術会議第一部会員、広島修道大学 商学部 教授）

研究報告 13:30～15:20

司会兼問題提起 亀井克之（関西大学 社会安全学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 主幹）

「メンタルヘルスと子どもの安全」尾久裕紀（立教大学 現代心理学部 特任教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 委嘱研究員）

「ケータイ・スマホと子どもの安全」岡田朋之（関西大学 総合情報学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 研究員）

「生活科学から見た子どもの安全」奈良由美子（放送大学 教養学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 委嘱研究員）

「情報法学から見た子どもの安全」高野一彦（関西大学 社会安全学部 教授）

（関西大学 経済・政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班 研究員）

休憩 15:20～15:30

ディスカッション 15:30～16:45

総括 上田和勇（専修大学 商学部教授 日本リスクマネジメント学会 理事長）

閉会の辞 白田佳子（日本学術会議第一部会員、筑波大学 ビジネスサイエンス系教授）

参加無料（事前申し込み不要） お問い合わせ：e-mail: kamei@kansai-u.ac.jp FAX 072 684 4188

5601098 高槻市白梅町 7-1 関西大学社会安全学部 亀井研究室 日本リスクマネジメント学会

＊本シンポジウムは関西大学 経済政治研究所「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班による4年間（2010年4月～2014年3月）におよぶ研究活動の総括です。

**本シンポジウムは日本リスクマネジメント学会・関東部会を兼ねます。



2014年2月28日(金) 日本学術会議議室
 日本学術会議 公開シンポジウム 日本リスクマネジメント学会 総務部会
 現代リスクマネジメントの動向
 ソーシャル・リスクマネジメントとリスクリテラシー
 司会 亀井克之



関西大学 経済政治研究所
2010年4月～2014年3月
「子どもの安全とリスク・コミュニケーション」研究班
地域社会とリスクマネジメント

子どもの安全についてクロスロードのようなゲームを作る

総括: 地域社会とリスクマネジメント 亀井 克之 (関西大学社会安全学部)
 ケータイ 岡田朋之 (関西大学総合情報学部)
 メディア教育 久保田賢一 (関西大学総合情報学部)
 情報法 個人情報 高野一彦 (関西大学社会安全学部)
 メンタルヘルス 金子信也 (関西大学社会安全学部)
 メンタルヘルス 尾久裕紀 (立教大学)
 生活科学 インターネット・防犯 奈良由美子 (放送大学)
 金融工学 お受験産業 石井至 (石井兄弟社)

1

ソーシャル・リスクマネジメント

- 社会的なリスクに
- 個人, 家庭, 学校, 地域社会, 企業, 行政
- などが連携して対応

- 子どもをとりまくリスクには
- 本人・保護者の努力に加えて,
- 学校, 地域社会, 企業, 行政などの連携して
 対応することの重要性

リスク・コミュニケーション

- ①どんなリスクがあるのか？
- ②そのリスクにどう対応するのか？
- →リスク克服に向けて→共通理解

- 家庭内部におけるコミュニケーション
（子ども↔保護者）
- 家庭外部に対するコミュニケーション
（子ども・保護者↔学校・地域社会・行政）

- 子どもを取り巻くリスクについての共通理解
- そのリスクにどう対応するかについての共通理解

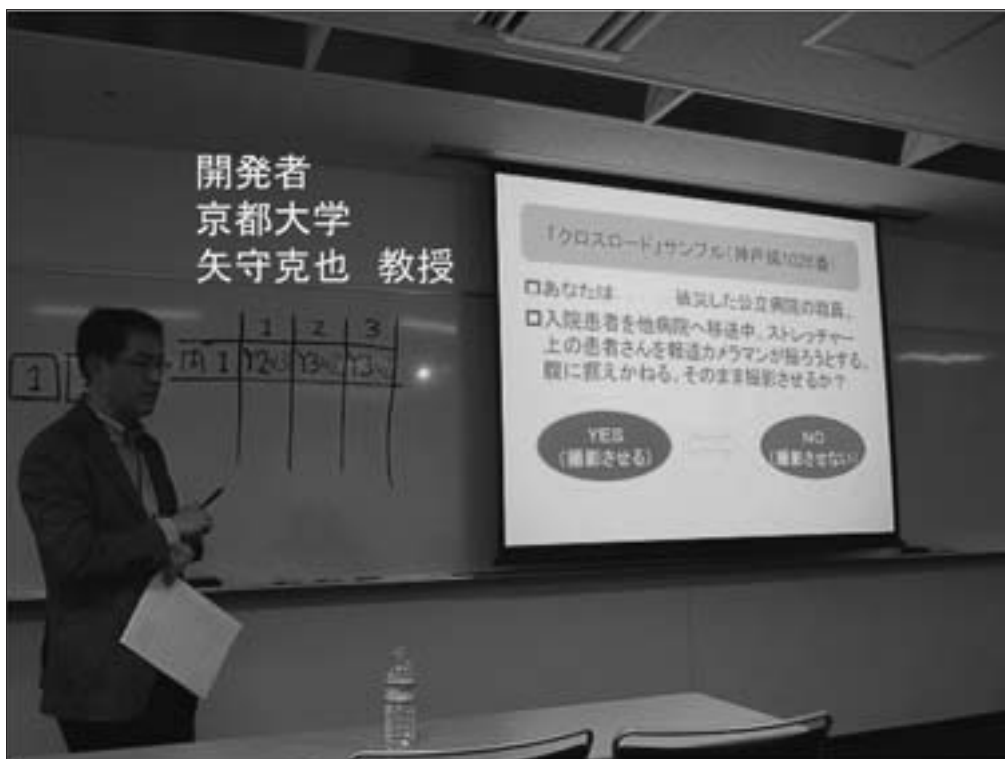
クロスロード（決断の別れ道）



クロスロード (決断の分かれ道)

- 決断してみよう
 - YESか NOか
- 話し合ってみよう
 - YESのよいところ 悪いところ
 - NOのよいところ 悪いところ

5



21014年1月14日(火)高槻市立 磐手小学校5・6年生が参加した
 関西大学社会安全学部「リスクマネジメント論」の内容より

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

① 椋鳩十「大造じいさんとガン」から

- あなたはガンの群れのリーダー 残雪。
- 1羽の ガンが飛びおくれて ハヤブサに襲われています。
- このガンを助けようとするハヤブサに殺されるかもしれません。
- あるいは大造じいさんにつかまえられるかもしれません。
- 助けますか？
- YES(助ける)NO(助けない)
- 参考資料(以下同じ)防災研究所『ぼうさい駅伝』
- 『防災カードゲーム シャッフル』幻冬舎エデュケーション, 2012年

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

② 新美南吉「あめ玉」から

- あなたは 二人の小さな子どもを連れた女の旅人。
- わたし舟に乗りました。
- 舟の真ん中で黒いひげを生やして強そうなさむらいがいねむりをしています。刀を持っています。
- 子どもたちが二人とも「あめ玉ちょうだい」と手を差し出しました。ところが、あめ玉はもう一つだけしかのこっていません。
- 「あたしにちょうだい」と二人ともせがみます。
- さむらいを起こしはしないかとひやひやします。
- 小さい方の子どもにだけあめ玉をあげますか？
- YES(小さい子にだけあげる) NO(あげない)

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

③「大切な宝物」(宮城県登米市立豊里小作成)

- あなたは 小学6年生の女の子。
- あなたの宝物は、修学旅行で買ってきたきれいなキャンドルです。いつも机の上に飾って大切にしています。ある日の晩、いつものように部屋で勉強していると大きな地震が起こり、停電になりました。
- 懐中電灯は電池切れです。家族はまだ夕ご飯前です。お母さんから、机の上にあるキャンドルを持ってきて灯りにするように言われました。
- あなたは持ってきますか。
- YES(キャンドルを持ってくる) NO(持ってこない)

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

④「ペット」(宮城県登米市立豊里小作成)

- あなたは 小学校6年生。
- 大型で非常に強い台風が近づいてきています。
- 30分前に「避難勧告」が出され、近所の人たちがどんどん避難所に避難を始めています。
- あなたの家でも避難所に行くことになりました。
- さて、家で飼っている犬と一緒に避難所に連れて行きますか。
- YES(連れていく) NO(連れて行かない)

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

⑤「幼い妹と」(宮城県登米市作成版を改変)

- あなたは 小学校4年生の男子。
- 夕方2歳の妹と留守番中、大地震が発生。しばらくすると防災無線で「今すぐ避難所へ」という避難勧告。
- 両親はあと1時間ほどで帰ってくる予定。
- , あなたは, 2km先の避難所まで妹を連れて避難しますか。
- YES(避難する) NO(両親を家で待つ)

ピンチにどう決断するか(クロスロード)

⑥「弟とおばあさん」(宮城県登米市立豊里小作成)

- あなたは 小学6年生の女の子。
- 大きな地震にあい避難所で生活をしています。
- ある日, 1歳の弟のミルクを作るために水の配給に並んでいるとちょうど自分のところで配給が終わりました。
- 後ろを見ると薬を飲むために水が必要なおばあさんでした。
- さて, あなたはその水をおばあさんにあげますか。
- YES (あげる) NO(あげない)

ぼうさいクイズとクロスロード 作成する際に参考にした資料

- 矢守克也・吉川肇子・網代剛『防災ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション クロスロードへの招待』ナカニシヤ出版, 2007年。
- 吉川肇子・矢守克也・杉浦淳吉『クロスロード・ネクスト 続:ゲームで学ぶリスク・コミュニケーション』ナカニシヤ出版, 2009年。
- 防災研究所『ぼうさい駅伝』
- 『防災カードゲーム シャッフル』幻冬舎エデュケーション, 2012年